

第**129**期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで



DID



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第129期第2四半期累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、中間報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 新家 啓 史

事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間の当社グループをとり巻く経済環境は、堅調な中国経済をはじめ、日本や欧米など先進国経済の持ち直しなどにより、総じて緩やかな回復基調にあります。しかしながら、ASEAN地域の新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞や世界的な半導体不足による自動車メーカーの減産、原材料価格の高騰など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は250億55百万円（前年同期比32.0%増）となりました。収益面につきましては、営業

利益は16億62百万円（前年同期は営業利益20百万円）、経常利益は22億1百万円（前年同期は経常損失78百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億87百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億66百万円）となりました。

なお、中間配当につきましては、期初の計画通り実施を見送らせて頂きたいと存じますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

売上高



営業利益



対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、各国の新型コロナウイルス感染状況、世界的な半導体不足による自動車メーカーの減産、原材料価格の高騰など、依然世界経済の先行きは極めて不透明となっております。

このような状況の中、本年、当社は『「伝える」「はこぶ」未来をカタチに！』をスローガンとする第12次中期経営計画（2021～2023年度）を策定いたしました。経済環境が大きく変化している中、ものづくり企業である当社は

「EV化」に対応した技術や高度塑性加工技術、金属表面処理技術などを「強み」とし磨き上げ、新たな市場に果敢に挑戦してまいります。創立100周年に向け、一人ひとりの力を集結し事業課題をやりきる事で社会の持続的な発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第129期（2022年3月期）連結業績予想

(単位：百万円)

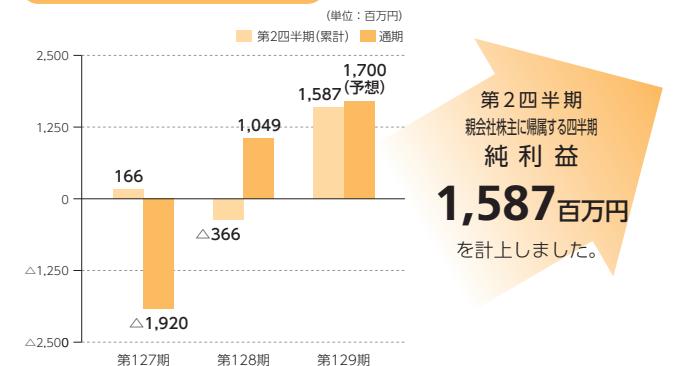
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	46,500	2,500	2,800	1,700

(個別業績は売上高24,500百万円、経常利益1,500百万円、当期純利益1,000百万円の予想です)

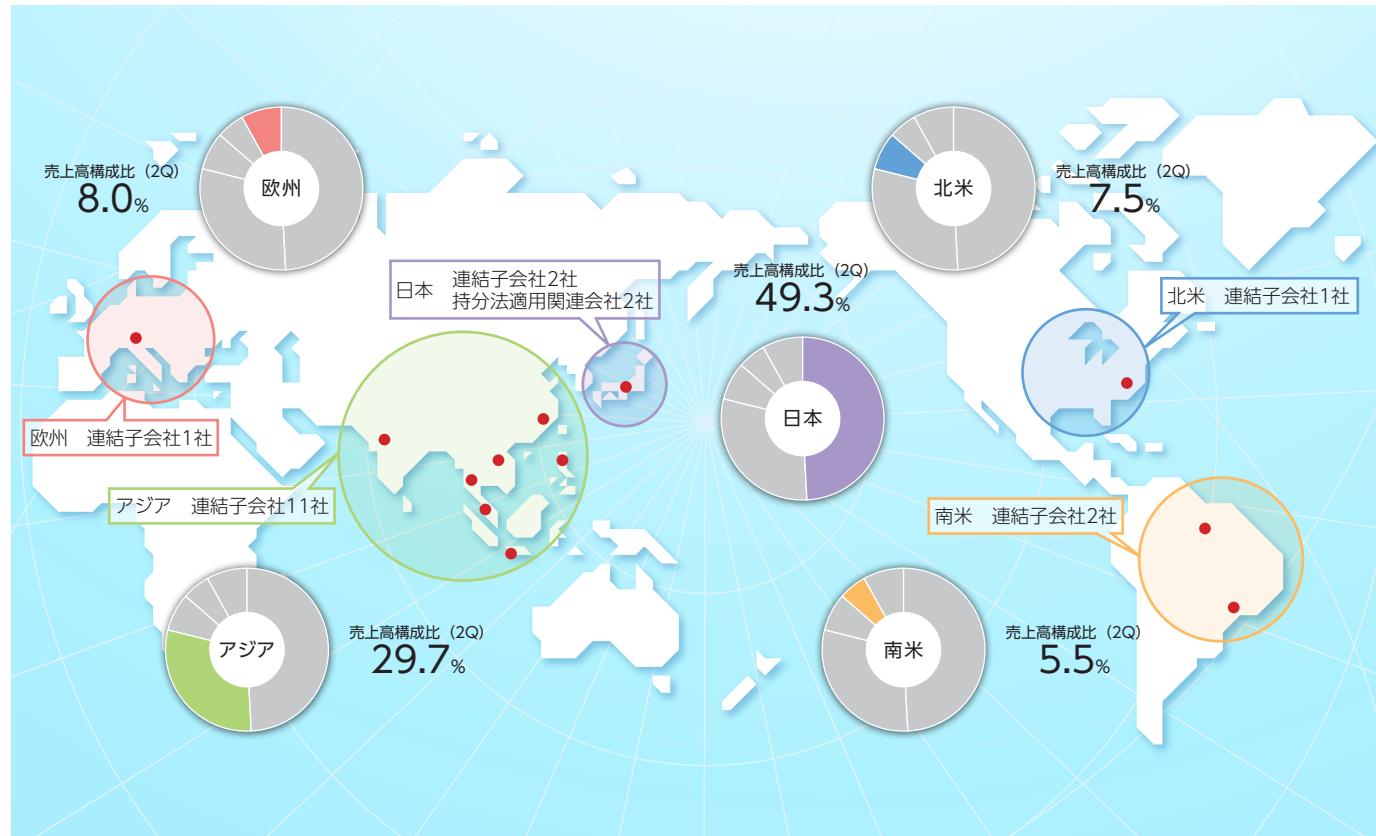
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

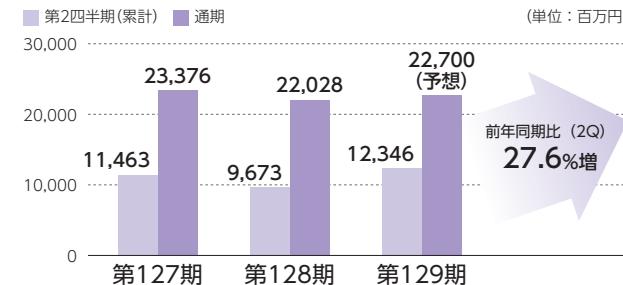


所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）



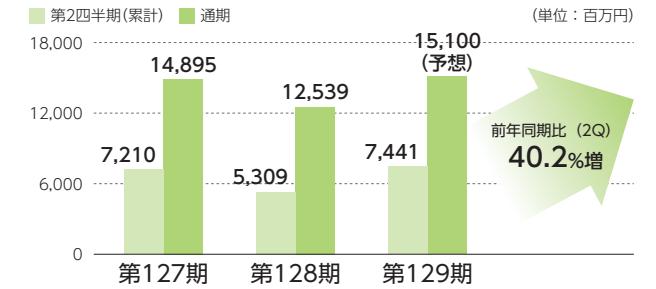
● 日本

前年同期は新型コロナウイルス感染症による受注の落ち込みがありましたが、当第2四半期連結累計期間は、二輪車及び自動車用チェーン等の受注が回復基調で推移したことから、外部顧客への売上高は123億46百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益は7億35百万円（前年同期は2億86百万円の営業損失）となりました。



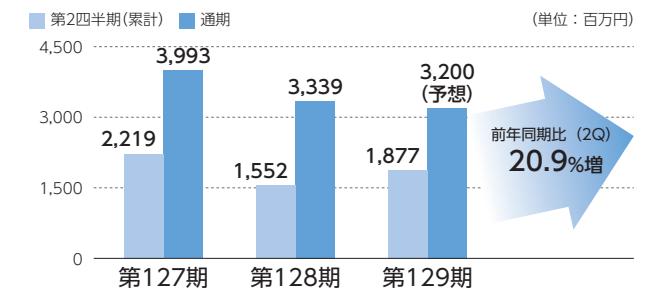
● アジア

前年同期は中国やインドにおいて新型コロナウイルス感染症による受注の落ち込みがありましたが、当第2四半期連結累計期間は受注が回復基調で推移したことに加え、中国において、収益認識会計基準の適用によりコンベヤ案件の工事の進捗とともに売上を計上したことから、外部顧客への売上高は74億41百万円（前年同期比40.2%増）、営業利益は5億7百万円（前年同期比298.6%増）となりました。



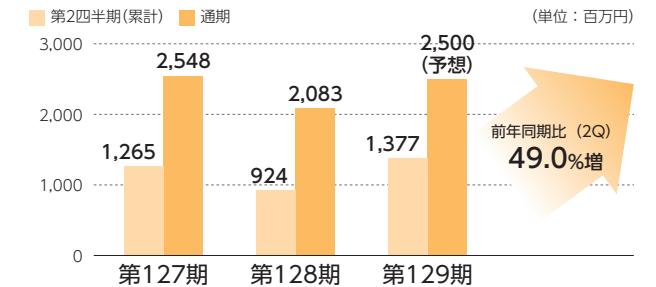
● 北米

二輪車用チェーン及びリムの受注が好調に推移したことから、外部顧客への売上高は18億77百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益は1億76百万円（前年同期比390.5%増）となりました。



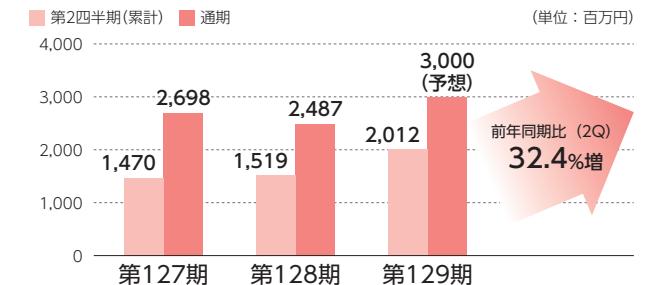
● 南米

現地通貨安の影響を受けたものの、前年同期は新型コロナウイルス感染症により受注が落ち込んでいたこともあり、外部顧客への売上高は13億77百万円（前年同期比49.0%増）、営業利益は54百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。



● 欧州

補修市場向けにおいて、二輪車用チェーンの受注が好調に推移したことに加え、円安による為替換算の影響もあり、外部顧客への売上高は20億12百万円（前年同期比32.4%増）、営業利益は1億41百万円（前年同期比52.0%増）となりました。

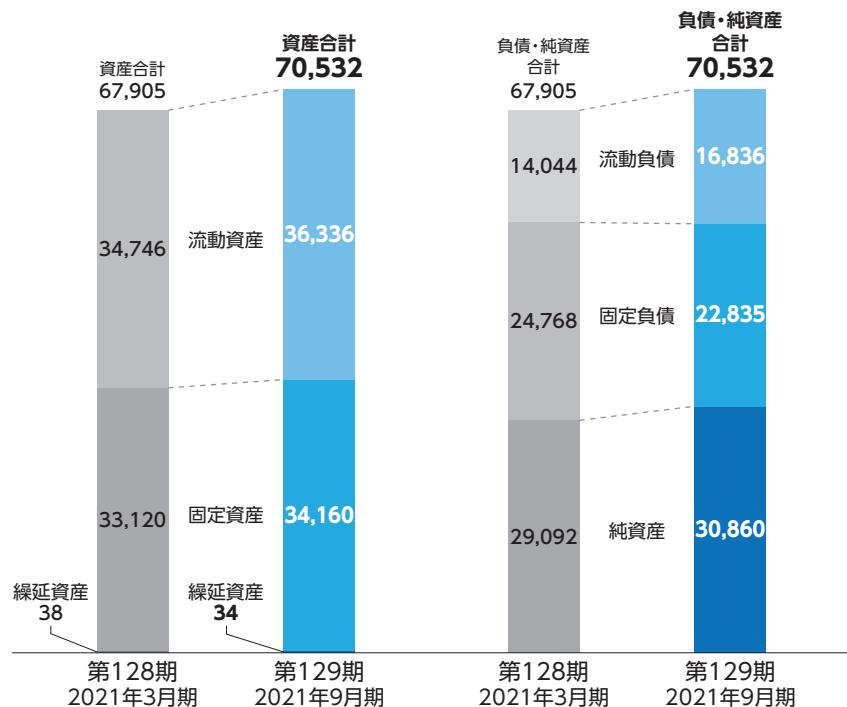


● 資産の部

単位：百万円

● 負債及び純資産の部

単位：百万円



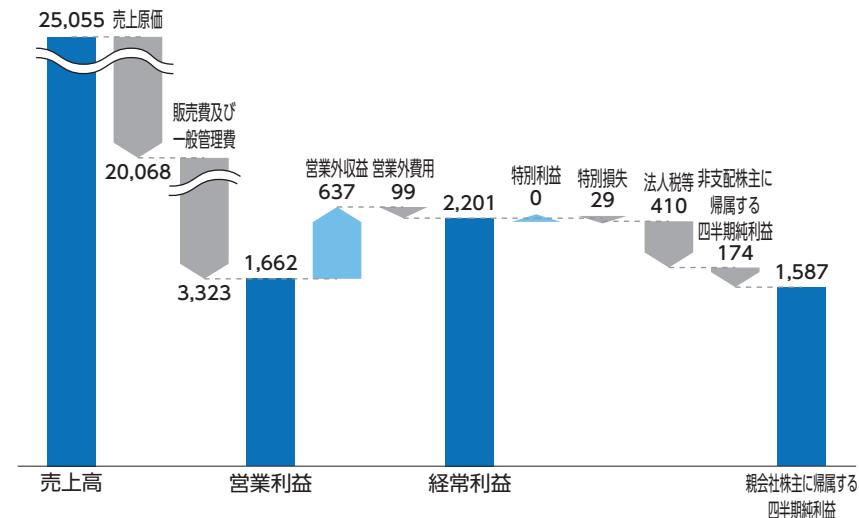
● ポイント解説

総資産は、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、建設仮勘定が増加したことなどにより、前期末と比べ26億26百万円増加しました。負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより前期末と比べ8億59百万円増加しました。

● 損益の状況

(2021年4月1日～2021年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

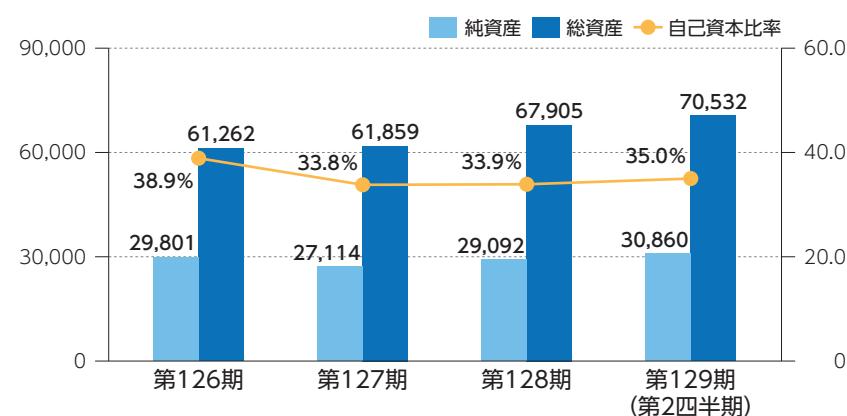
売り上げ面では、前年同期の新型コロナウイルス感染症による受注の落ち込みから回復基調で推移したことに加え、中国における収益認識会計基準の適用によりコンベヤ案件の工事の進捗とともに売上を計上したことなどから、前年同期を大幅に上回りました。利益面でも、売上高の増加や為替差益の増加等により、営業利益、経常利益、四半期純利益においていずれも前年同期を大幅に上回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益又は経常損失	親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失
第129期 2021年9月期	25,055	1,662	2,201	1,587
第128期 2020年9月期	18,979	20	△78	△366

● 純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円



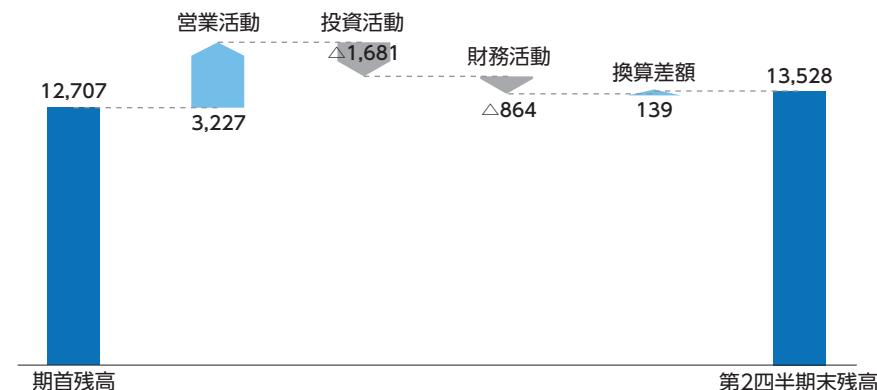
● ポイント解説

自己資本比率は、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末と比べ1.1ポイント増加の35.0%となりました。

● キャッシュ・フローの状況

(2021年4月1日～2021年9月30日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上等により、32億27百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により16億81百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減額、配当金の支払、非支配株主への配当金の支払等により、8億64百万円の使用となりました。

会社の概況

商号：大同工業株式会社
 設立年月日：1933年5月25日
 資本金：35億3,651万円
 従業員：766名(個別) 2,309名(連結)
 (注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時雇用者(定年後再雇用社員、派遣社員等)は含んでおりません。

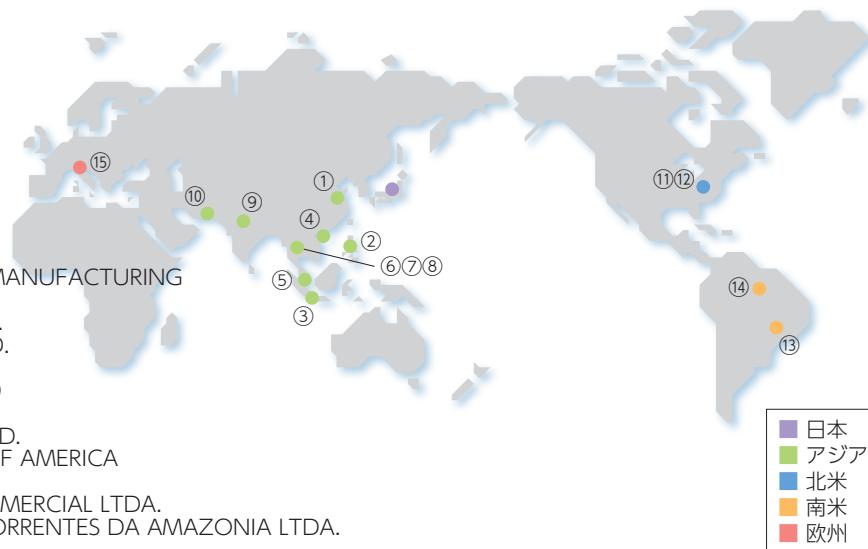
事業所

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 東橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1
 東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (オーキッドプレイス人形町三丁目)
 札幌営業所：札幌市東区北18条東18-1-3
 栃木営業所：宇都宮市東宿郷4-2-20 (KDビル)
 浜松営業所：浜松市北区三方原町1130-2
 名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7
 大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12 (新家ビル)
 西日本営業所：福岡市博多区博多駅南1-3-6 (第三博多借成ビル)
 熊本営業所：熊本県菊池市旭志川1074-1

グローバルネットワーク

- 国内ネットワーク
- 株式会社大同ゼネラルサービス
 - 株式会社大同テクノ
 - ガイド建設株式会社
 - 新星工業株式会社
 - 株式会社月星製作所
 - 株式会社和泉商行
 - 株式会社スギムラ精工

- 海外ネットワーク
- 中国 ① 大同鏈条(常熟)有限公司
 - フィリピン ② D.I.D PHILIPPINES INC.
 - インドネシア ③ P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
 - ベトナム ④ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
 - マレーシア ⑤ DID MALAYSIA SDN. BHD.
 - タイ ⑥ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
 - タイ ⑦ D.I.D ASIA CO., LTD.
 - タイ ⑧ INTERFACE グループ (3社)
 - インド ⑨ DAIDO INDIA PVT. LTD.
 - パキスタン ⑩ ATLAS DID (PRIVATE) LTD.
 - アメリカ ⑪ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
 - アメリカ ⑫ IWIS-DAIDO LLC
 - ブラジル ⑬ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
 - ブラジル ⑭ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
 - イタリア ⑮ DID EUROPE S.R.L.



会社役員状況

会社における地位	氏名
代表取締役会長	新家康三
代表取締役社長	新家啓史
常務取締役	菊知克幸
常務取締役	清水俊弘
取締役	眞田昌則
取締役	石村外志雄
取締役 監査等委員(常勤)	梶谷清浩
取締役 監査等委員(社外)	澤保
取締役 監査等委員(社外)	坂下清司
取締役 監査等委員(社外)	武市祥司

(注) 1. 澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏は社外取締役であります。
 2. 当社は、澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所へ届出しております。

株式の状況

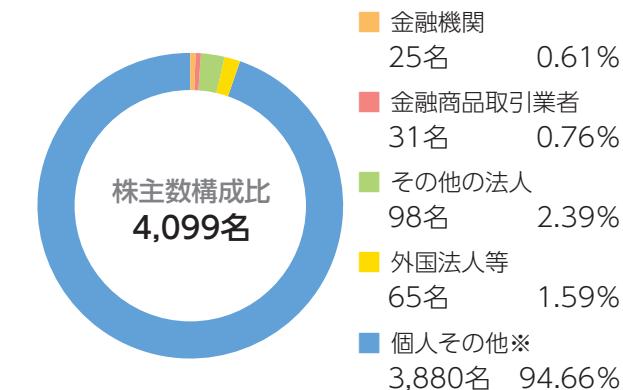
発行可能株式総数：32,000,000株
 発行済株式総数：10,924,201株(自己株式1,558株含む)
 株主数：4,099名

大株主(上位10名)

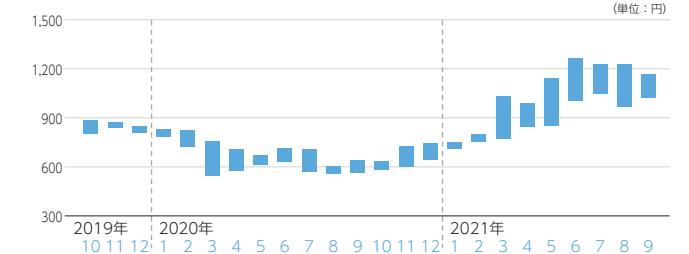
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,127千株	10.32%
株式会社飯田	547	5.01
株式会社北國銀行	542	4.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	457	4.19
日本生命保険相互会社	275	2.52
加賀商工有限会社	262	2.41
大同生命保険株式会社	259	2.38
株式会社みずほ銀行	258	2.36
株式会社三菱UFJ銀行	258	2.36
新家萬里子	257	2.36

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

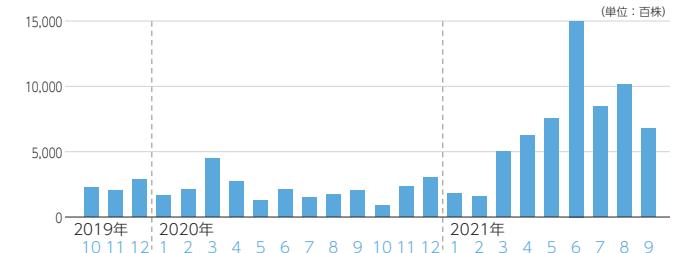
株式分布状況



株価(高値・安値)の推移



出来高の推移



株主数構成比 4,099名

株式数構成比 10,924,201株

※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

■ オリエンタルチエン工業株式会社との業務提携

当社は2021年5月14日、オリエンタルチエン工業株式会社（OCM社）と、産業機械用チェーン及び関連製品分野における業務提携に関する基本合意書を締結しました。

OCM社と当社がそれぞれ有する販売網や、生産・技術面における強みを共有し効果的に活用することで、相互の事業拡大に向けたシナジー効果が期待できると考えています。



【提携内容】

- ①相互製品供給によるラインナップの補完及び拡充
- ②相互生産委託による生産効率向上
- ③相互技術交流及び協力による技術向上

提携内容の一部については既に具体的な活動を開始しており、業務提携シナジーの最大化を図り、企業価値の向上につなげていけるよう、取り組んでいきます。

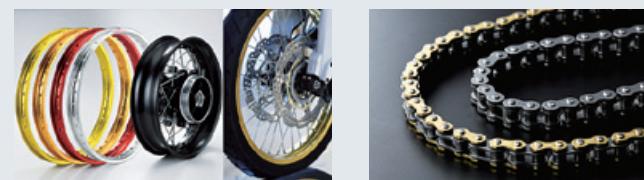
■ 2021年 全日本モトクロス選手権への冠協賛

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）と2021年全日本モトクロス選手権のシリーズパートナー契約を締結し、『D.I.D全日本モトクロス選手権』というシリーズタイトルで冠協賛を行いました。

モトクロスを含む二輪自動車向けのチェーンやリムは当社の主力製品であり、国内二輪自動車の普及振興というMFJの理念・目的への共感から、今回の冠協賛につながっています。



一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会： <https://www.mfj.or.jp/>



■ 自律走行型UV-C除菌ロボット『DK-MATRIX UVC』のフィールドテスト開始

新型コロナウイルスのまん延により、感染拡大防止に向けた消毒や除菌のニーズが高まっていますが、人の手による消毒・除菌作業での二次感染のリスク等への対策も課題となっています。

このような課題への解決策として、当社の海外グループ会社が主体となり開発したのが、自律走行型UV-C除菌ロボット『DK-MATRIX UVC』です。

紫外線（UV-C）の照射により、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの不活性化、大腸菌・サルモネラ菌等の除菌について高い効果を発揮します。また、自律走行機能により無人での除菌作業を容易に実現でき、消毒・除菌作業者の安全確保にもつながります。

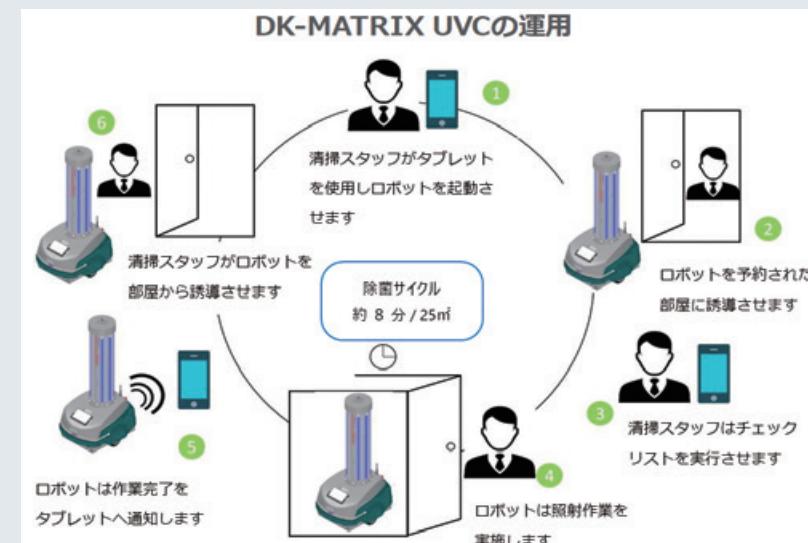
開発コンセプトの一つでもある「公共施設の安全・快適な環境の実現」に向け、地元自治体である加賀市へ製品を寄贈し、医療機関でのフィールドテストを開始しており、今後の普及を目指して取り組んでいきます。



DK-MATRIX UVC

【製品特長】

- 高出力のUV-C照射ランプを8本装備。（オゾンフリー）
- 障害物検知機能と障害物回避技術で、安全な除菌作業。
- マッピング機能により、付属タブレットを使って走行ルート、除菌位置を簡単設定。
- 遠隔走行もタブレットで操作が可能。
- 病院内のオペ室、入退院の個室除菌など緊急時への対応として、スムーズなキャスターとハンドルにより一人で容易に手押し移動が可能。
- 作業記録は付属タブレットにて確認が可能。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
単元未満株式の 買取制度	1単元 (100株) 単元未満株式 (1から99株)
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットHP URL)	https://www.smtb.jp/Personal/agency/
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) https://www.did-daido.co.jp/jp/index.html
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6373

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

